

～中学生と一緒に考える男女共同参画～

『ふれあい出前講座』を実施しました

本市では、市民団体「ファシリテーターズ藤枝」との協働により、中学生と一緒に男女共同参画社会を考える「ふれあい出前講座」を平成 21 年より実施しています。

10 年目となる本年度も、青島北中学校及び岡部中学校の 1 年生を対象に授業を実施しました。



①寸劇

ごく普通の家庭で起こっている実際の場面を取り上げ、生徒や先生に演じてもらいます。

劇は、お母さんの「私どうしたらいいんでしょう？」という投げかけで突然終わります。



②グループで話し合い ⇒ 発表

劇の中の問題を自分の事として捉え「私ならこうする」「ここが変」など、グループごとに意見を出し合います。

出された意見はグループの代表者が全体に発表し、クラスみんなで意見を共有します。



③ファシリテーターのまとめ

生徒から出された意見や、現在の日本の置かれている状況から、一人ひとりの人権が尊重され、男女が対等に活躍できる「男女共同参画社会」の意味や意義、重要性を講師が説明します。

感受性豊かな中学生に、人は誰でも「自分らしく生きたい」と望んでいる、そのためには何が必要かを考える「きっかけ」づくりを目的としています。

ごく一般的な家庭の様子を寸劇で演じて、何が問題なのか、どうしたらよいのか、何ができるのかを考え、その中で、男女共同参画の意義について気づいてもらうものです。